

全日本科学機器展 in 大阪 2007 新産業を創る先端科学技術フォーラム 2007

「環境問題セミナー ―環境計測技術の最先端―」 関連

日本化学会環境・安全推進委員会 テーマゾーン

主催 日本化学会 環境・安全推進委員会

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。さて、日本化学会環境・安全推進委員会では、化学の進歩普及を通じて人類の福祉・地球環境保全に貢献していく本会の社会的責務に鑑み、環境・安全に関する問題について、精力的に審議、啓発活動を行っております。

本委員会では、理化学機器・実験器具・試験機器、分析機器、先端製造機器および装置、情報・システム関連等の各社、大学、公的機関が一堂に会し、アジア最大規模を誇る「全日本科学機器展」の企画、「新産業を創る先端科学技術フォーラム 2007」学会連動セミナーとして、「環境問題セミナー ―環境計測技術の最先端―」を昨年同様に開催いたします。

このたび、本セミナー開催にあわせ、「日本化学会環境・安全推進委員会 テーマゾーン」を開設し、展示ならびに広報の相乗効果向上を目指したいと存じます。貴社におかれましてはこの機会に是非、ブース展示にご出展され、貴社のビジネスチャンスをご拡大されますことをお勧め申し上げます。

敬具

記

名 称：全日本科学機器展 in 大阪 2007 「日本化学会環境・安全推進委員会 テーマゾーン」

会 期：平成 19 年 10 月 17 日（水）-19 日（金）

会 場：インテックス大阪（大阪市住之江区南港北 1-5-102）

展示概要：

①一般ブース

基本小間規格：間口 3m×奥行 3m×高さ 2.7m

出展料：本会会員 230,000 円（税込 241,500 円）

非会員 280,000 円（税込 294,000 円）

②ミニブース 1社1小間のみ、限定計10小間まで（簡単な製品・パネル展示に向いています）

基本小間規格：間口 2m×奥行 1.5m×高さ 2.7m

出展料：本会会員 80,000 円（税込 84,000 円）

非会員 100,000 円（税込 105,000 円）

申込締切：平成 19 年 7 月 31 日（火）

展示詳細：全日本科学機器展の規定に準ずる。本委員会でお申し込みを取りまとめ、全日本科学機器展から展示に関する詳細をご案内いたします。基本小間の設営・ご請求・お支払いに関する窓口および実施は全日本科学機器展事務局となります（パネル展示代行に関しては日本化学会事務局で行います）。

パネル展示代行：学会ポスター発表レベルのパネル展示を日本化学会事務局で代行いたします。ミニブース

において、ポスター発表形式のパネル貼り付け、ポスター貼り付け代行をご希望される節は、日本化学会事務局あてお申し込みください（税込 50,000 円程度、内容により決定。代行に関する窓口・事務・ご請求・お支払いは日本化学会事務局で行います）。

申込方法：「全日本科学機器展 in 大阪 2007 日本化学会環境・安全推進委員会 テーマゾーン申込」と題記のうえ、一般ブース/ミニブースの別、小間数、貴社名、ご担当者氏名・ご連絡先、パネル展示代行の要否を明記し、下記までメールにてお申し込みください。

申込先：101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5 日本化学会 環境・安全推進委員会 担当：保倉
電話 03-3292-6163、FAX 03-3292-6318、E-mail hokura@chemistry.or.jp

第2回 環境問題セミナー ―環境計測技術の最先端―

主催 日本化学会 環境・安全推進委員会

会 期 平成 19 年 10 月 17 日（水）14 時 00 分～16 時 20 分

会 場 インテックス大阪(大阪市住之江区南港北 1-5-102)

全日本科学機器展 新産業を創る先端科学技術フォーラム 2007 会場内

募集人員 50 名

近年の科学技術の細分化や多様化に伴って、扱われる化学物質は多様化し、新規な物質や技術の開発を目指す傾向が強まってきた。環境計測の分野においても、環境中の微量化学物質を精度良く分析するための新しい技術開発が急速に進んでいる。本セミナーでは、進化する環境計測技術の近況について、第一線の研究者に最先端の研究例を交えて講演していただく。

14:00-14:35 講演 1 化学センサーを用いた環境モニタリング

(慶応義塾大学理工学部 教授) 鈴木 孝治

14:35-15:10 講演 2 GCxGC/HR-TOFMSによる残留性有機汚染物質の測定

(国立環境研究所 有機環境計測研究室 主任研究員) 橋本 俊次

15:10-15:45 講演 3 GC/ICPMSによる石油や環境の超微量有機金属類分析

(産業技術総合研究所 環境管理技術研究部門 副部門長) 田尾 博明

15:45-16:20 講演 4 燃焼イオンクロマトグラフ/タンデム質量分析計による環境試料中

フッ素化合物のマスバランス解析

(産業技術総合研究所 環境管理技術研究部門 主任研究員) 山下 信義

参加費 無料

参加申込方法 全科展HP (<http://www.sia-osaka.gr.jp/sis/4.html>) にアクセスし、所定の申込用紙に必要事項をご記入のうえ、全科展事務局あてお申し込みください。

問合先 内容に関するお問い合わせは、日本化学会「環境問題セミナー」担当までお願いします（電話03-3292-6163、E-mail hokura@chemistry.or.jp）。

申込先 556-8660 大阪市浪速区湊町2-1-57 難波サンケイビル フジサンケイ ビジネスアイ事業部(電話06-6633-7186、FAX 06-6633-2634、E-mail o-nikko-jigyo@sankei-net.co.jp)